

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
平成 30 年度第 3 回在宅医療介護推進部会 会議録

開催日時	平成 31 年 1 月 31 日（木） 午後 2 時～午後 4 時 6 分
開催場所	メディカルセンター 3 階研修室
出席者 （部会員）	溝口部会員（部会長）、林部会員（副部会長）、嶋司部会員、月川部会員、加藤（満）部会員、高山部会員、世古部会員、吹留部会員、工藤部会員、井上部会員
出席者 （関係者）	株式会社オフィス・オルタナティブ（支援業務受託者） 2 名 医師会事務局 土橋次長
欠席者	山口部会員、霜田部会員、倉本部会員、辻村部会員、吉藤部会員、喜多部会員、今西部会員、田中部会員
事務局	福祉健康部杉浦次長、介護保険課近藤課長、健康課吉村課長、地域医療課石田課長、伊藤主幹、高瀬
傍聴	1 名
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から生駒市の課題について行ったグループワークのまとめ 2. グループワーク <ol style="list-style-type: none"> ①在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から見えた生駒市の課題についてどのように取組を行うか。 <ol style="list-style-type: none"> ア グループワークのまとめをもとに課題の検討 イ 課題に対してどのような取組ができるか検討 ウ 発表 3. その他 <ol style="list-style-type: none"> ①ケア倶楽部の利用について ②平成 30 年度 看取りに関する多職種連携研修会について ③生駒郡地域ケア会議 市民公開講座 人生のラストに『笑い』と『生きがい』を ④生駒市在宅医療・介護連携支援センターの実績報告について
資料	<p>座席表</p> <p>資料 1 在宅医療介護連携の方針</p> <p>資料 2 在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から考える生駒市の課題について</p> <p>資料 3 生駒市在宅医療・介護連携支援センター 活動実績</p> <p>チラシ 平成 30 年度 看取りに関する多職種連携研修会</p> <p>チラシ 生駒郡地域ケア会議 市民公開講座 人生のラストに『笑い』と『生きがい』を</p> <p>アンケート ケア倶楽部の利用について</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配付資料確認
部会長	<p>2 案件 1. 在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から生駒市の課題について行ったグループワークのまとめ</p> <p>皆様、お忙しい中お集まりいただき、ご苦労様です。今年度 3 回目の部会となる。</p> <p>本日は案件 1 について事務局から報告を受けたい。その後、グループワークを行い、部会員の皆様で意見交換をし、発表していただきたいと考えている。それでは、次第 2、案件 1 の「在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から見えた生駒市の課題について行ったグループワークのまとめ」の報告を事務局から願います。</p>
事務局	<p>在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から考える生駒市の課題について、検討いただいたグループワークのまとめを報告させていただく。</p> <p>第 2 回のグループワークで部会員の皆様にご検討いただいた意見を 5 つの項目にまとめている。</p> <p>この項目は、平成 28 年度に本部会で策定していただいた「在宅医療介護連携の方針」を基にまとめている。皆様は十分ご承知のことと思うが、再度確認し、共有した上で、今後の事業の取組についてご検討いただきたいと考えている。</p> <p>(資料 1 に基づき説明)</p> <p>以上のように、本部会で平成 28 年度に策定していただいた「在宅医療介護連携の方針」に沿って、鋭意取組を進めてきたが、今後は、本部会でこれらの取組の評価や見直しなどの検討も行っていただけるように考えている。また、それとともに、本日、前回の部会に引き続き、次なる新たな課題の抽出と取組の提案をご検討、ご協議いただきたく考えている。</p> <p>続いて、資料 2 在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から考える生駒市の課題について報告する。</p> <p>(資料 2 に基づき説明)</p> <p>課題や取組提案は、あくまでも事務局案としてまとめている。</p> <p>以上で、前回のグループワークのまとめに関する報告を終了する。</p>
部会長	<p>ただ今、在宅医療・介護連携の方針と生駒市の課題について報告を受けた。何かご意見等あるか。</p> <p>取組課題や提案を挙げていただいたので、それをベースにまたグループワークで議論させていただけたらと思う。</p> <p>ご意見がないようなので、案件 2 のグループワークに移る。事務局から説明を願います。</p>

<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">案件 2. グループワーク 在宅医療・介護連携に関する実態等調査結果から見えた生駒市の課題についてどのように取組を行うか。</p> <p>案件 2 グループワークは、2つのテーマで進めさせていただく。 テーマ①は資料 2 のグループワークのまとめを基に生駒市の課題について検討していただきたい。「課題」部分に、先ほど報告させていただいた事務局の案を記載しているので、実際に課題として取り上げることができるのか、他にも課題があるのではないかとすることを 25 分討議していただけたらと考えている。 その後、テーマ②課題に対してどのような取組ができるかということを検討していただく。すべての課題に対して検討するのは時間が足りないと思うので、各グループで、項目ごとに優先順位を決め、どのような取組ができるかを順次検討していただく。取組提案については、誰が主体となり、どのように実行していくかを具体的に検討していただきたいと思う。検討時間は 65 分を予定している。 テーマ①について、もしグループ協議の結果、課題に変更がないということであれば、25 分を待たずにテーマ②の取組提案に移っていただくようお願いする。グループワークが終了後、各グループから発表を行うという流れになっている。ファシリテーター、発表者、タイムキーパーは事務局にて対応する。</p> <p>(意見交換) (グループ発表)</p>
<p>1 グループ</p>	<p>5つの課題の中で主に1情報共有と3連携体制を話した。4研修・人材育成と5普及啓発はそれぞれ関連項目として整理した。 情報共有では、事務局提案の「病院や事務所向けに入退院調整マニュアルについての説明を市の担当課で行う」に関連して、市の職員が出向いて医師や看護師に、入退院調整マニュアルだけでなく、介護保険制度の概要も交えながら全体の概要を理解してもらい、その上でマニュアルの活用に努めていただきたいという提示をした。 連携体制では、病院と事業所の連携や病診連携の推進について、実態としては市立病院にしても近大病院にしても病診連携で急性期の増悪患者を受け入れているというより、患者と病院の約束で受け入れているということであった。 研修・人材育成と普及啓発については、どちらも引き続き「看取り」に関するものを実施していけばよいのではないかと示させてもらった。こちらも関連して最終的に看取りを迎えたときに自宅にいる人だけではなく、遠方にいる親戚の人も含めて「最期に自宅で看取ってもらえてよかった」と言ってもらえるように多職種の間で研修を進め、また、市民に関しても元気な方や、自分が在宅看取りを受けるという立場の方もいるが、看取るほうの立場の人にも普及啓発を進めていくことによって、最終的に自宅で看取ってもらってよかったと言ってもらえる環境づくりを進めるということで、まとめた。 以上である。</p>
<p>2 グループ</p>	<p>課題について、まず昨年度までに作ったものを精査する必要があるということで、特に入退院調整マニュアルを使用する現状を整え、機能するようになってから、課題を考えていってはどうかということになった。 その上で、次年度の取組提案を考えた。 1 情報共有では、入退院調整マニュアルを今後どのように利用していくかを検討した。病院でマニュアルが利用できていないので、病院職員に対して話をしていく、マニュアルの中に病棟看護師との連携を加える、といった話があった。マニュアルを進展させていく中では病院スタッフの理解を進めていくためには、看護師長がキーになるのもっと看護師長への理解を促進していかなくてはどうかというご意見があった。</p>

	<p>5 普及啓発にもつながるが、普及の方法として、マニュアルの使い方を簡単にA4のポスターにして病院や病棟の入り口に掲示し、職員に認識してもらう、食堂などで動画撮影したDVDなどを流すのはどうか、という話があった。今は書面での利用確認でとどまっているので、市職員やワーキンググループのメンバーが病院に行ってインタビュー調査をしてはどうか、という提案があった。このようにすることで、顔のみえる関係が広まり、医療介護の連携につながっていくのではないか。</p> <p>また、医療介護連携を進めていくためには、市民の力が大きい。入退院調整マニュアルを使っていることを市民にもっと知ってもらうために、市民向けのものを発行し、市民から「このようなものがあると聞いたのですが、どうですか」と、病院側に促していくのはどうか、という話もあった。</p> <p>今年度、看取りに関して研修、人材育成、市民フォーラムなどを行ったが、今後も継続していくことが必要ではないか。ただ「看取り」という言葉を使うと重く感じてしまうので、自分のこととして捉えるための工夫が必要ではないかという話があった。今、厚生労働省でACPとか人生会議という言葉が使われているので、こういったものを使いながら、市民に元気なときから介護のことを知ってもらう工夫が必要ではないか。そのためにもこの入退院調整マニュアルを浸透させ、生駒市の医療介護連携を発展させていき、在宅療養は普通のことであるという意識をもってもらい、最後は看取りまで進めるのではないか、という話をした。</p> <p>以上である。</p>
事務局	<p>各グループからの課題や取組提案について、事務局が持ち帰ってまとめさせていただく。そして、第4回には、今年度のグループワークのまとめと、次年度以降の事業の取組案についてご提案させていただきたい。</p> <p>長時間にわたるグループワークにご参加いただきありがとうございました。</p>
部会長	<p>お疲れ様でした。皆様からいただいた貴重なご意見を基に、今後もさらに在宅医療介護の推進のための取組を進めていきたいと思うので、ご協力賜ようお願い申し上げます。</p> <p>看取りはなかなか難しい。多職種や家族を含め対応していかななくてはならないので、いろいろ課題はあると思う。</p> <p>それでは、案件3その他①「ケア倶楽部の利用について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>案件3. その他 ①ケア倶楽部の利用について</p> <p>第3回の部会から、ケア倶楽部を利用して開催通知を送付させていただいた。今回、ケア倶楽部を通じてご連絡をいただいた方と、従来通りのご連絡をいただいた方がいらっしゃる。</p> <p>また、今後ケア倶楽部の普及も考えているが、実際に利用してどうなのかということが分からないので、今後の利用促進の参考のために、皆様にご協力いただき、ケア倶楽部の利用についてアンケート調査を行いたいと考えている。</p> <p>お手元にアンケートをお配りしているので、本日、時間があれば記入してご提出していただいてもよいし、2月15日までに地域医療課へ返送いただきたいと思っている。お名前の記入をお願いしているが、結果を報告するときには、統計的に処理させていただく。</p> <p>最後の設問については、是非とも忌憚ないご意見をいただけたらと思う。業務がお忙しいとは思いますが、調査へのご協力をお願いします。</p>
部会長	<p>何かご意見などあるか。</p>

	<p>ないようなので、その他②「平成 30 年度看取りに関する多職種連携研修会」についてお願いします。</p> <p>案件 3. その他 ②平成 30 年度看取りに関する多職種連携研修会について</p> <p>お手元にチラシをお配りしている。すでに郵便でも送付しているが、平成 30 年度看取りに関する多職種連携研修会を開催する。2 月 9 日と 23 日の土曜日に予定している。どちらも講演と実践報告後にグループワークを検討している。講演講師は、ちゅうわ往診クリニックの河田先生にお願いしている。実践報告は、1 回目が独居で老衰の方の看取りについて、2 回目が癌の方の在宅看取りについての報告となっている。</p> <p>1 回目と 2 回目では講演、実践報告ともに違う内容での研修を開催するので、両日ご参加いただければ幸いだが、どちらか 1 日のみの参加でも可能となっている。</p> <p>締切は明日までとなっているが、現在 45 名ほどご参加の受付をいただいております。お席に余裕があるので、皆様、お申し込みをお願いします。</p>
事務局	
部会長	<p>今の説明内容で何かご意見あるか。</p> <p>ないようなので、「生駒市在宅医療・介護連携支援センターの実績報告」について説明をお願いします。</p> <p>案件 3. その他 ④生駒市在宅医療・介護連携支援センターの実績報告について</p>
事務局	<p>在宅医療・介護連携支援センターについて説明する。</p> <p>お手元の資料 3 をご覧いただきたい。運用を開始した平成 30 年 4 月～12 月までの実績を記載している。</p>
事務局	(資料 3 に基づき説明)
部会長	ただ今の説明内容について何かご意見などあるか。
事務局	1 点、周知させていただきたいことがある。
	<p>案件 3. その他 ③生駒郡ケア会議 市民公開講座 人生のラストに『笑い』を『生きがい』を</p>
事務局	<p>「人生のラストに『笑い』と『生きがい』を」というチラシについてである。</p> <p>来る 2 月 16 日の土曜日の午後 1 時半から、三郷町文化センター・文化ホールにおいて、生駒郡地域ケア会議主催、生駒郡 4 町と生駒地区医師会が共催で取組をされる。第一部では、昨年の市民フォーラムで基調講演をされた尾崎先生が、「地域でわが家で最期まで」というテーマで生駒郡地域ケア会議の活動についてご報告されたあと、第二部として、「たくさん笑って介護予防」ということで、介護エンターテイナーの石田竜生さん。この間テレビでも紹介されていたようですが、皆様方の現場で参考になることが聞けると思うので、是非是非お誘い合わせの上、ご参加いただければと思う。よろしくをお願いします。報告は以上である。</p>
部会長	<p>何か質問はあるか。</p> <p>ないようなので、これで平成 30 年度第 3 回在宅医療介護推進部会を閉会する。ありがとうございました。</p>